

家族再統合事業

平成19年度より「家族療法」事業を開始し、入所児童のみであったプティ ヴィラージュの家族再統合事業は、元入所児童とはいえ、在宅事業をスタートするという大きな変換をいたしました。

基本コンセプト … 「こころとこころのつながりを実感する」

プティ ヴィラージュで暮らしている子ども達、在宅での家族療法が必要な子ども達の本質的な「つらさ」「苦しみ」「悲しみ」「悩み」「怒り」

…本当につながっていたい家族との「つながり」に関する問題。

家族再統合事業

本来の家族(もしくはそれに代わる大事な存在)とのつながりを、子ども達のペースにあわせて無理なく結んでいくための支援。具体的には、「家庭訪問」「保護者面接(カウンセリング)」「親子生活訓練」「電話・手紙での相談」を通じて、以下のことを行います。

○ 「家庭調整」「関係機関調整」

…保護者や関係機関に働きかけ、入所している子どもが、本来の家族とのつながりを感じられるように交渉や連絡、調整、きっかけ作りを行う。逆に保護者や関係機関の想いも子どもに伝える。

○ 「家族療法」

…子どもや保護者に対し、カウンセリングやセラピー、もしくはスーパーバイズ(助言・指導)することで、子どもと保護者をはじめとした本来の家族との「つながり(人間関係)」を豊かなものにする事で問題の解決を図る。

○ 「里親支援」

…本来の家族とのつながりが難しい子どもに対し、「里親」という存在を紹介することにより、本来の保護者以外に「つながり」が持てる存在を子ども達が得るための支援。もしくは、里親に対して応援(助言)することで、里親と子どもが豊かな人間関係の中暮らせるよう支援する。

・ 家族(里親)との「こころのつながり」を実感することで自分は生まれてきてよかったんだ。自分との出会いを喜んでくれている人がいることを実感。…**自己肯定感**

・ 家族(里親)との豊かな人間関係が心地いいことを知ること、そんな関係をこれから社会でも作りたいと思う。逆に困ったら、助けをよんでみようかな。間違えてもいいんだ(やりなおせばいい)等、心にゆとりを持ってもらえたら。…**基本的信頼感**

・ 本質的なつらさが緩和することで、夢を追いかけてみようかな。人生を楽しんでみようかなと思う
…**自己実現**

本質的な「つらさ」「生きにくさ」を緩和することで、豊かな人間関係の中で、いきいきと暮らしていける自信がもてるよう支援する。